青苗幼稚園こぐまクラブ修了式

昨年の青苗幼稚園
交通安全青空教室

心かよいあう幸の島：みんなの
広報 おくりの 4
2015 April No. 565

◎今月号の主な内容

- 町政執行方針 …… 2～5 ページ
- 教育行政執行方針 …… 6～7 ページ
- 平成26年度当初予算 …… 8～9 ページ
- 奥尻ムーンライトマラソン …… 10 ページ
- まちのイベント …… 11 ページ
- 防　　災 …… 12 ページ
- まちの話題 …… 13 ページ
- 暮らしの情報 …… 14 ページ
- お知らせ …… 15～18 ページ
- お知らせ・戸籍 …… 19 ページ
- わが町のカレンダー …… 20 ページ

奥尻幼稚園こぐまクラブ修了式

奥尻幼稚園と青苗幼稚園では、卒園式を前に「こぐまクラブ修了式」を開催し、交通安全のルールを習得した園児たちに『修了証書』を贈りました。

４月からは小学生になります。交通安全を心がけ、勉強やスポーツもがんばりましょう。

昨年の奥尻幼稚園
交通安全青空教室

奥尻幼稚園こぐまクラブ修了式

平成27年度 町政執行方針

皆が安心して暮らせる未来と活力あるまちづくりを目指して

奥尻町長
新村 卓実

3月10日から12日にかけて開催された「平成27年第１回奥尻町議会定例会」で、新村町長の平成27年度における「奥尻町長施政方針」が示されました。
その内容について、要約してご紹介します。

はじめに

平成27年第１回奥尻町議会定例会の開会にあたり、新年度の町政に対する私の所信と施策の一端について申し上げます。

国政について、昨年12月に第３次安倍政権が発足し、安倍首相は「デフレ脱却を確実にする一方、財政再建の道筋を示し、地方の人口減少に歯止めをかけ、活性化させる」としています。

特に経済政策「アベノミクス」について「いまだ成長途上であり、さらに実りあふれる改革へ成長させるため、今後も経済最優先で取り組む」と強調しております。

また、地方創生として「どの地域に住んでいても豊かで安心して生活できる環境を整える」とし「人口減少に直面している中山間地域では充実した拠点を整備し、医療、介護、福祉、買い物、物流など生活サービスを一定のエリアに集め、文化、スポーツ、生涯学習活動など地域の実情に即した拠点としての機能を強化する」としています。さらに「政府が決めるのではなく、地方が自ら考え行動し、変革を起こすことが重要で地方の発意に基づく取り組みをあらゆる方策を使って応援する」と会見で述べています。

本町としても、国の「まち・ひと・しごと創生法」に伴う地方版の総合戦略を策定することが求められており、自らの考えにより、行動を起こし、まちづくりを進めることが必要であると考えます。

取組の成果

私の政策目標である「効率的な財政運営に努め、地域振興を進める」にあたり、今まで取組んできた施策についてご説明申し上げます。

基幹産業である漁業では、離島であることから輸送コストが漁業者の経営をひっ迫させていました。このため、昨年12月から島外へ出荷する水産物の海上輸送費の一部を助成し、漁業経営の安定化を図りました。また、漁業資源の有効活用や、資源回復のための種魚や種苗放流なども毎年実施してきました。新たな水産ブランドとして養殖に取組んでいる「イワガキ」は27年度より、各種イベント等を通じて販売できる見込みとなっております。

農業について、奥尻ワインに次ぐ特産品として、昨年から酒米を作付けし、栗山町の酒造会社の協力により奥尻産の「地酒づくり」を行っています。

４月には、日本酒「奥尻」が出来上がる予定で新しい奥尻ブランドとしての定着が期待されます。

▲期待の地酒「奥尻」

林業においては、愛知県企業の支援により、昨年『奥尻島豊かな森』を造成し、大規模な植樹祭を開催し、自然あふれる豊かな森づくりの実現が期待されます。

また、地元の間伐材を利用した再生エネルギーとして、町内では２カ所目となるチップボイラーを奥尻小学校に昨年秋に導入し、冬期間の暖房用として利用しています。

さらに『ふるさと納税制度』を見直し、新たな財源の確保と水産加工業などの活性化を図ったことで、昨年度を大幅に上回るふるさと納税が寄附され、奥尻町を応援して下さる方が全国へと広がっております。

観光分野では、長引くデフレや消費税増税など、島の観光産業においてマイナス要因となっております。

このため、町民が一丸となって町の活性化に取り組む新しいスポーツイベントとして『奥尻ムーンライトマラソン』を開催し、「奥尻島の将来への礎」となる事業としての定着を図り、大きな反響を呼んだところです。

▲奥尻ムーンライトマラソン

次に〝医療・福祉の充実〟については、救急患者の搬送のため、導入を切望していた「道南ドクターヘリ」が、今年２月から運航開始となりました。

日中のみとはなりますが、患者の搬送時間が大幅に短縮され、離島医療に対する住民の不安がまた一つ解消されました。

また、地域医療の充実のため、医師３名体制の確保を図り、他の医療機関による専門医診療の支援を受けるなど、町民への安定した医療サービスの提供に務めました。

次に〝防災・減災の環境づくり〟について、災害に強い町として、地域防災計画の抜本的な見直しや津波ハザードマップの作成のほか、老朽化している津波避難路の案内看板の設置も一部で実施いたしました。

次に〝教育内容の充実を図る〟については、少子化による児童生徒数の減少を踏まえ、宮津小学校と奥尻小学校の統合により、離島の小規模学校でも子どもを健やかに育てることができる環境を整えました。

▲統合された奥尻小学校の新しい教室

その他、離島の交通路線確保のため、道々奥尻島線の整備や奥尻港湾などの基盤整備、生活に必要なゴミ処理施設や下水道施設の整備促進など、できる限りのことを進めてきたところです。

まちづくりの姿勢

平成27年度に向けての私の〝まちづくりの姿勢〟について、その概要をご説明します。

新年度は昭和41年１月１日の町政施行後、節目となる50周年を迎える年度となります。

奥尻町では、町政施行後、多くの災害に襲われましたが、その都度、町民は力を合わせ幾多の試練を乗り越え50年の月日を歩んできたところです。

特に、22年前の北海道南西沖地震による甚大な被害は、町民にとって決して消えることのない大きな傷跡を残しましたが、全国からのご支援により、平成10年３月に復興宣言できました。これは町民のたくましさと団結力の賜物であると考えております。

町政施行50周年を迎えるにあたり、引き続き先人の築き上げた奥尻島を緑豊かで希望に満ちた島とするため、また、町民が安心・安全に暮らし「いつまでも奥尻に住み続けたいと思う町づくり」を目指し、適切な町政運営を推進して参ります。

予算編成について

平成27年度の当初予算は、一般会計で33億５千７百84万円、病院事業を含む各特別会計で23億９千５百17万円、総額で、57億５千３百１万円で昨年度と比較し約９・１％の減額となり、バランス型予算としたところです。

歳入

歳入の根幹となる町税のうち、町民税は本町の基幹産業である水産業を中心とした産業所得の伸び悩みや公共事業などに従事する産業就業人口の減少により増収を見込めないことから、１億３千４百89万円を見込みました。

固定資産税については、新築家屋の建築件数の減少や道有資産の償却等による交付金の減額などから、１億６百16万円の税収を見込んでいます。

地方交付税については、人口減少や別枠加算の廃止に伴い、減額が予想されるため、当初予算として18億８百32万円を計上し、地方交付税の振替措置となる臨時財政対策債の活用と財政調整基金等からの繰入などにより予算編成を行ったものです。

歳出

◎総務費

新たな財源の確保を目指し、昨年８月より拡充して取組んでいる『ふるさと納税』関連予算の増額や、本町の水産物等の輸送に関する経費を軽減するための『地域戦略産品輸送経費支援事業』に係る予算を計上するとともに、町内住宅関連産業の振興と住民の暮らしをサポートするため、住宅

▲ふるさと納税の特典として人気の「活あわび」

リフォーム事業を実施します。

次に、離島交通対策として、航空運賃やフェリー運賃に対する島民への料金助成を継続して実施します。

◎民生費

少子高齢化や人口減少が進む本町において「70歳でもできる！あったか愛ランドおくしり」を目指し、通所・訪問介護安定供給促進事業や高齢者生活福祉センター事業などの各種福祉事業の実施や除雪サービスなど指定介護事業所としてのサービス提供を行っている社会福祉協議会への運営補助を引き続き行います。また、高齢者世帯や障害者世帯などの低所得者の生活支援対策として、冬期間の灯油購入費の一部を助成します。

さらに、次世代の子ども達や「この島で子どもを育てたい」という保護者への支援対策として、乳幼児等医療費を小学生の通院についても支給対象とすることを継続します。また、地域インフォーマルサポート創造セミナー等において、地域で障害をもっている人同士や障害児の保護者同士が交流する機会が増えており、健康づくりセンター「いろは」の積極的活用を図るとともに、本町における社会福祉の向上を図るため、暮らしの中で、困りごとを抱え、孤立しがちな町民と活動する機会やきっかけを探している町民のマッチングを行い、自助・共助・公助の方針によりインフォーマルな支え合いや、繋がりづくりを構築します。

◎衛生費

重篤患者の搬送時間の短縮に大きな期待が寄せられている道南ドクターヘリの通年運航が開始されたことに伴い運航経費について、負担金を計上しています。

▲患者搬送中の「道南ドクターヘリ」（奥尻空港）

また、「しあわせは安心から」「みんなで元気になろう」を合い言葉に、各検診を実施し、疾病の早期発見・治療へ繋げるとともに、検診後のフォローアップ等を行い、「介護保険」や「国民健康保険」、「後期高齢者医療」など、国民がみんなで支えあう社会保障制度についても引き続き適正な運営に努めます。

さらに、子どもを安全に産み・育てるために、「しあわせは知ることから」を基本目標に、母子手帳の交付時から出産・未就学時まで、保健師などによるサポート体制を充実し、町外での検診に対して旅費を助成するとともに、乳幼児等に対しては各種ワクチン接種費用の助成を行います。

次に、ごみ焼却施設について、老朽化対策が課題となっておりますが、施設の適正な維持管理に努めるとともに、ゴミの減量化に繋がる啓蒙活動などを継続して実施します。

し尿処理では、赤石地区の下水道処理施設へ投入するためのミックス処理事業を25年度より開始していますが、新年度においては、事業の最終年度として、汚水処理施設共同整備事業負担金を予算措置いたしました。

また、国保病院事業会計への繰出し金は、６千２百29万円を計上しています。また、現在３名体制の医師は、病院長が９月30日までの雇用期間となっていることから、全国自治体病院協議会に要請し医師の確保に努めます。

◎農林水産業費

農業においては、農協改革やＴＰＰ問題など農業政策の転換期を迎えているなか、昨年、新しく生産に取組んだ地酒の販促ＰＲ経費や新規作物のムラサキアスパラ用の施設整備への助成、作業機械の共同購入に対しての助成のほか、基盤整備事業や西青苗地区農道整備の負担金について予算措置し、基盤強化に努めます。

林業においては、間伐が進まず森林の荒廃が懸念される島内の人工林を、豊かな森づくり基金や森林環境整備事業を活用し、間伐や下刈り、植樹などを行い、「豊かな森」の造成・育成に努めます。また、間伐材の端材を活用しチップボイラーを導入している青苗小学校と奥尻小学校では、暖房費の削減が大きな成果を挙げており、今後も地山地消を推進し森林資源の有効活用を図ります。

▲青苗小学校チップボイラー

一方、水産関係においては、漁業の柱となっているホッケやスルメイカなどの水揚げが大幅に減少している現状にあるなか、道では「日本海漁業振興基本方針」を策定し、「採る漁業」から「育てる漁業」への転換を図ろうとしています。本町では、アワビ種苗育成センターを活用し、アワビ・ナマコの種苗生産・放流等を行い漁業資源の維持・拡大を図るとともに、ウニについては深浅移植を実施し資源の有効利用に努めます。

また、養殖を進めているイワガキやホヤの生産・販売についても積極的に支援し、近海資源の維持・増大を図る

ため、サクラマス・ニシンの稚魚放流も継続し実施します。

次に、漁港関係については、漁港漁場整備法の改正により、本町の５つの第１種漁港を統合し「奥尻漁港」として、今後、各漁港を整備する予定であり、漁港を利用した養殖事業も検討していきたいと考えます。

第３種青苗漁港については、防災対策と衛生管理を兼ね備えた漁港とするため、屋根付き岸壁の整備や護岸改良など実施します。

そして、農業や漁業を中心とした島の魅力ある特産品については、ふるさと納税の特典としてＰＲすることで販促に繋げ、足腰が強く、後継者が育つ産業になるように支援して行きたいと考えます。

◎商工費

交流のあるまちづくりとして、26年度実施した第１回奥尻ムーンライトマラソンは、幾つかの課題は残りましたが、町民皆様のご協力のお陰で無事に終えることができました。

今年の第２回奥尻ムーンライトマラソンの開催にあたっては、６月26日に前夜祭、27日に大会を開催することで決定し、本町の応援をして下さる方々のご協力により、全国的に有名な公務員ランナー川内優輝氏の参加が決定していることから、一層盛り上がることと期待しています。

また、観光振興策では、礎事業の実施主体である観光協会への補助や長年実施している定期観光バスや歓迎キャンペーン事業、乗用車等の運賃助成のほか、奥尻三大祭り協賛行事への補助金などの予算化に加え、来年３月に開業が予定されている北海道新幹線を見据えた広域での観光をＰＲするため、「函館・みなみ北海道グルメパークin仙台」への参加など新たな観光客獲得のための活動を推進します。

◎土木費

各町道の維持費や除雪対策費、また、近年の異常気象による大雨災害等に対応するための神威脇川の流木撤去工事や各河川の維持管理、住宅管理費などに係る予算を措置し、老朽化した橋梁については、橋梁長寿命化計画に基づき改修します。

公営住宅については、公営住宅建替計画に基づき、たかのす団地の建替解体工事費等について予算措置したところです。

▲新築された町営住宅

一方、港湾施設整備においては、奥尻港湾長期計画に基づき、現在の漁港区域埋め立てのため、新漁港区の物揚場などの整備に係る負担金を予算計上し、島を訪れる観光客などが親しみやすい「海のオアシス」としての港湾整備を推進します。

また、港湾海岸においては、地域住民の生命と財産を守るため、景観に配慮し既設離岸堤を陸側に移設するための経費を予算措置しています。

空港費では、空の玄関として町民が親しみやすく利用しやすい空港となるよう、新年度よりエックスレイ検査（手荷物検査の自動化）の導入に係る経費を計上し、より快適な空の旅が実現するよう予算を措置いたしました。

◎消防費

地域防災の要として、消防職員や消防団員の役割は大きく、装備品の充実や訓練、消防活動に係る経費等を計上し体制の強化を図ります。

また、新年度からは消防無線がデジタル方式に移行されるため、檜山広域行政組合への負担金を予算措置し、救急救命士の各講習に係る負担金等についても予算措置したところです。

◎教育費

新年度においては、28年度を目途に道立奥尻高等学校を町立に移管し、29年度において、奥尻・青苗中学校を統合するため、（仮称）奥尻中学校校舎新築工事基本設計及び実施設計委託料などを新たに予算措置いたしました。

以上が、平成27年度の町政執行方針の主な内容でありますが、本町のおいては、少子高齢化や人口減少が急速に進み、交付税の削減など財政状況が厳しい現状にあります。

しかし、今後予定されている中高一貫教育の実現を目指しての奥尻高校への教室の増築や、国保病院・役場庁舎の建替えなど、多額の財源が必要とされており、一層の効率的な行財政運営が求められております。

このため、町民皆様の協力を得て、町民一体となって、知恵と力を結集し、希望を持って進めば必ず島は良くなるという信念を持ち「島じかんが紡ぐみんなの笑顔」がある町づくりを目指し、全力で取り組む考えでおりますので、今後とも町民皆様のご理解とご協力をお願い申し上げ、平成27年度の施政方針といたします。

平成27年度 教育行政執行方針

奥尻町教育委員会教育長
石島 孝司

3月10日から12日にかけて開催された「平成27年第1回奥尻町議会定例会」で、石島教育長の平成27年度における「教育行政執行方針」が示されました。
その内容について、要約してご紹介します。

はじめに

我が国では、社会保障、環境問題、社会的・経済的格差の固定化への懸念、そして社会における安心・安全の確保など、様々な課題が生じております。

教育は、国や地域を築くために欠くことのできない普遍的な基盤であり、将来を担う人材を育てるための未来への投資であります。

今、社会や経済のグローバル化が進み、より複雑で変化の激しい時代にあって、教育の「内容」や「質」の向上と実現が問われており、「学力・体力の向上」、「いじめ・不登校対策」や「道徳教育の充実」、「土曜授業」や「新たな教育委員会制度」など、これまで以上の取組が必要です。

また、子どもたちが社会の変化に柔軟に対応し、夢と希望を持ち、自らの力で明るい未来を切り拓くことができるよう、基本的な知識や技能を身に付け、その生涯を切り開いていく「力強い人間力」を持った人材の育成が求められております。

教育委員会では、教育目標である「ふるさとに学び、町を育てる児童・生徒の育成」の実現に向け、子どもたちの良好な教育環境の整備と学習環境の充実に向け、全力で取り組んで参ります。

学校教育

確かな学力の育成

平成26年4月に実施された「全国学力・学習状況調査」の結果について、学校名や個人名が特定されない範囲で公表いたしました。これは町民に対する教育委員会としての説明責任を果たすためであり、様々な場面で子どもたちに応援をいただいている町民の皆様に、島の子どもたちの学習状況などを知っていただくためでもあります。

また、小学校での土曜授業の試行と、生活習慣等の定着を図る通学合宿「奥尻町子どもナイトミーティング事業」については今年度も継続実施いたします。

▲子どもナイトミーティング

次に、特別な教育的支援を必要とする子どもへの対応について、今後も幼稚園や関係機関との連携を図り、一人一人の実態を把握しながら、個別の支援計画に基づいた、きめ細かな指導の充実と体制づくりに努めて参ります。

豊かな心を育てる教育の推進

子どもたちによる問題行動やいじめなどは、いつでもどこでも起こり得る状況にあるため、子どもたちに生命を大切にする心、美しいものや自然に感動する心、思いやりの心、公共心、基本的な規範意識などをしっかり育んで行くことが必要です。

特に、いじめについては、「いじめをしない、させない、許さない」という強い気持ちを育む取組が極めて重要であり、「奥尻町いじめ・不登校等対策委員会」を定期的に開催し、各学校の取り組み状況、実態把握、協議等を通じ、情報の共有化を図るとともに、「いじめ根絶子ども会議」を開催するなど、未然防止に努めて参ります。

信頼される学校づくり

地域に開かれ信頼される学校を実現するためには、自らの教育活動について積極的に説明責任を果たすとともに、保護者や地域住民の意見や要望を真摯に受け止め、創意工夫を生かした特色ある学校づくりが大切です。

また、教職員の服務規律の保持については、これまでも指導の徹底を図ってきたところですが、子どもたちは、

学校、家庭、地域の信頼できる大人たちの姿を見て育ち、その言動で勇気づけられたり、夢や希望を見つけていくものであり、特に、教職員の「行動」や「言動」は、児童生徒の人格形成に大きな影響を与えます。

今後も、各種校内研修資料を活用し、教職員一人一人の規範意識を高めるため、研修に取り組んで参ります。

学校環境等の整備

平成26年４月に新奥尻小学校が宮津地区で再スタートし、青苗小学校体育館についても昨年完成いたしました。

▲完成した青苗小学校体育館

また、中学校の統合については、統合を円滑に実施するため、すでに「奥尻町立中学校統合準備委員会」を立ち上げ、課題を整理し検討協議に入っております。

今後、平成28年度に道立奥尻高等学校を町立に移管し、平成29年度には、奥尻・青苗中学校を統合するため、漏れのないよう準備を進めて参ります。

社会教育

平成23年度からの「新奥尻町社会教育中期５カ年計画」に基づき、少年教育、成人教育など９つの柱を軸に、着実に進めて参ります。

これを実現するために、体育協会、文化協会をはじめとした社会教育団体と連携を図りながら、地域と人、人と人をつなぎ、共に学び、分かち合いながら活力に満ち溢れた未来を創造して参ります。

青少年等の社会教育

少年教育においては、学校、地域、家庭が連携し、それぞれの特性を活かしながら、子どもたちの自立した豊かな人間性を育むため、各種事業を展開して参ります。

青年・成人教育においては、次代を担う青年層の活力を引き出す取り組みを推進して参ります。

女性教育においては、地域を支える社会活動を行なっている女性団体連絡協議会を軸に、各種大会の支援やボランティア活動への協力を行なって参ります。また、高齢者教育においては、各種事業を通じて地域や人との繋がりを育み、生きがいづくりや培われた知識の活用が図られるよう支援します。

家庭教育においては、子どもたちの規則正しい生活や習慣を通じて健やかな成長を育むために、子育て支援を展開して参ります。

文化の振興・その他

文化協会を軸に様々な文化的活動がされやすいよう、環境づくりや他事業との連携支援を行い、町民同士の親睦や郷土文化の向上を育んで参ります。

また、町指定文化財の「宮津弁天宮」の老朽化が進んでいることから、回廊の補修に対する助成を行ないます。

▲町指定文化財の「宮津弁天宮」

町民の体育振興と親睦を目的とした体育協会を軸に、様々なスポーツ大会の支援や、町民センターや桜ヶ丘スキー場など、スポーツを展開する施設の維持管理を行なって参ります。

図書振興では、今年３月に策定した「奥尻町こども読書活動推進計画」を軸に、海洋研修センター図書室の更なる利用促進と学校との連携を密にし、子どもたちの読書活動の推進を図って参ります。

▲海洋研修センター図書室

以上、平成27年度の教育行政の執行に関する主要な方針について申し上げました。

島の子どもたちは、素直で純朴でやさしい子どもたちばかりです。

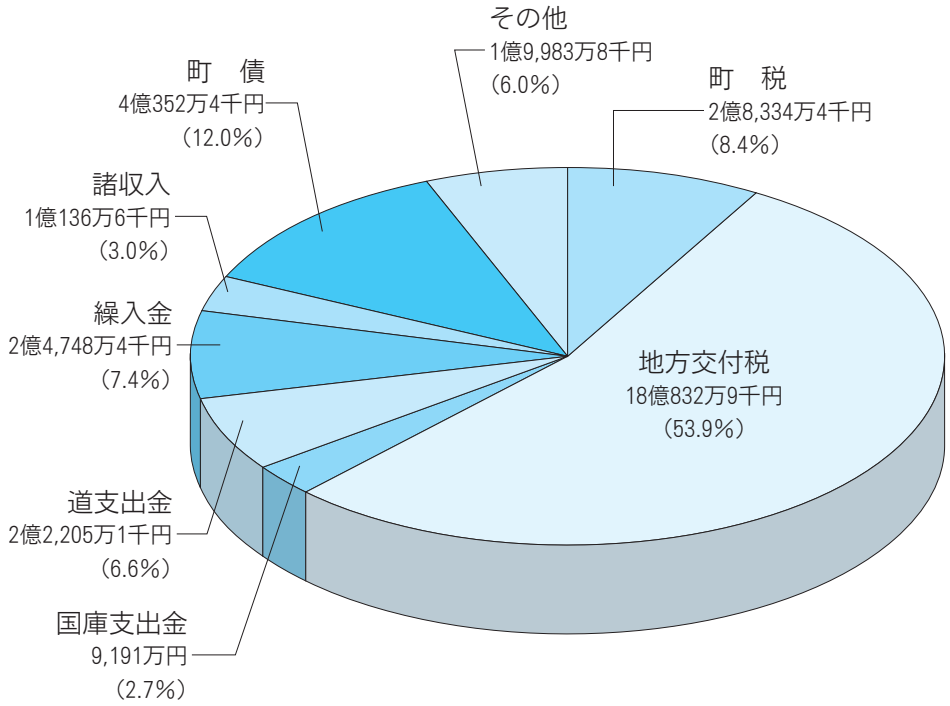
私たち大人はこの子どもたちに、人との関わりの中で、厳しい時代を乗り越えていく基本的なルールを、時には厳しく時には優しく教えていく必要があります。

次代を担う子どもたちが自立し、ともに支え合う共生の精神を持って、希望あふれる未来を築いて行くことができるよう、教育委員長はじめ、各教育委員ともども全力を尽くして参りますので、町民の皆様のご理解とご協力を心からお願い申し上げます。

平成27年度 奥尻町の予算

平成27年度の奥尻町の一般会計、各特別会計は、３月10日から12日まで開催された「第１回奥尻町議会定例会」で承認され、原案どおり可決成立されました。

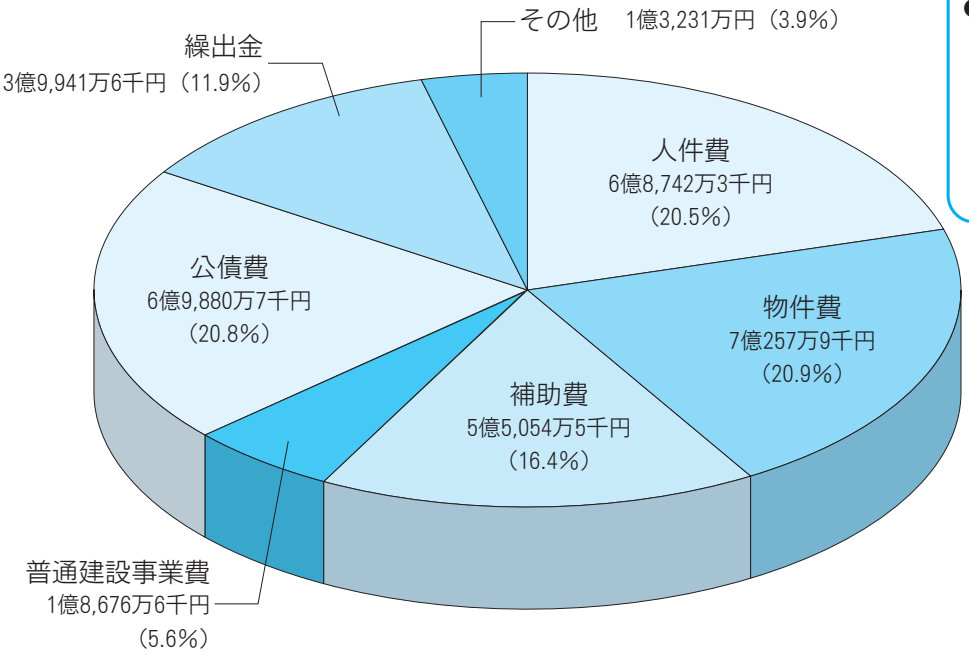
厳しい財政事情にありますが、今後も様々な改革に取り組み、限られた予算を有効に活用し、誰もが安心して暮らせる町づくりを進めます。



●その他　1億9,983万8千円（内訳）

・地方譲与税	2,837万2千円
・利子割交付金	580千円
・配当割交付金	593万円
・株式等譲渡所得割交付金	8万8千円
・地方消費税交付金	3,307万7千円
・自動車取得税交付金	285万2千円
・国有提供施設等所在市町村助成交付金	1,930万9千円
・地方特例交付金	8万9千円
・交通安全対策特別交付金	1千円
・分担金及び負担金	5万円
・使用料及び手数料	7,332万8千円
・財産収入	1,698万9千円
・寄附金	2,351万円
・繰越金	100万円

一般会計　歳入合計　33億5,784万6千円（100%）



●その他　1億3,231万円（内訳）

・維持補修費	3,705万8千円
・扶助費	8,151万6千円
・積立金	263万円
・投資及び出資金	394万6千円
・貸付金	516万円
・予備費	200万円

歳出（性質別）

一般会計予算、歳出の性質別内訳は、物件費（20.9％）、公債費（20.8％）、人件費（20.5％）の順となっています。

一般会計　歳出合計　33億5,784万6千円（100%）

※棒グラフ表示割合は、分かりやすさを重視し一部で詳細値を表示しているため合計値は100%となりません。

歳出（目的別）

一般会計予算、歳出の目的別内訳は、総務費（26.2%）、次に公債費（20.8%）、土木費（11.6%）の順となっています。

総　予　算

57億5,301万9千円

一般会計
33億5,784万6千円

特別会計
23億9,517万3千円

平成27年度奥尻町の予算総額は、57億5,301万9千円で、内訳は、一般会計33億5,784万6千円、バス交通事業などの13事業の特別会計23億9,517万3千円となっております。

一般会計の歳入の内訳は、地方交付税が53.9%と半分近くを占め、次に町債、町税の順となっています。

暮らしの上で、直接的に関わりの深い13事業の各特別会計の予算は、右記のとおりですが、厳しい運営の特別会計には、一般会計からの繰出金が措置されています。

各特別会計の予算額

会計名		予算額
バス交通事業		5,333万2千円
自動車整備工場事業		8,552万5千円
あわび種苗育成センター事業		4,160万5千円
国民健康保険事業勘定		5億1,002万2千円
国民健康保険直営診療所事業		3,382万円
後期高齢者医療事業		3,622万2千円
介護保険事業		2億7,099万9千円
介護保険介護サービス事業勘定		1,705万9千円
簡易水道事業		6,175万8千円
港湾施設用地造成事業		1,959万1千円
公共下水道事業		3億5,951万1千円
漁業集落排水事業		3,329万8千円
国民健康保険病院事業	収益的収支	8億5,378万1千円
	資本的収支	1,865万円
合計		23億9,517万3千円

第2回奥尻ムーンライトマラソン 6月27日開催

フルマラソン午後3時 START! ハーフマラソン午後5時 START!

※どちらもスタート地点は「奥尻町海洋研修センター」で、ゴール地点は「青苗漁港人工地盤」となり、午後９時までの大会開催となります。

奥尻ムーンライトマラソン実行委員会では、第２回奥尻ムーンライトマラソンを６月27日(土)に開催します。

このマラソンは、沖縄県伊平屋村が発祥の地で満月の月夜に走るフルマラソン・ハーフマラソンの大会です。

昨年の第１回大会では、沿道からの沢山の温かい応援が、参加ランナーの力となり、楽しく走ることができたとの多くのお声を頂きました。

また、奥尻島らしくイカ釣り漁師の方々による漁火（いさりび）応援がランナーの心に感動を与えたとのことです。

今年も、500名の参加者を募集しています。

町民みなさまのご理解とご協力をお願い申し上げます。

▲ 昨年のフルマラソンスタートの様子

★４月１日より参加エントリー受付中！

参加申込用紙は、奥尻町役場・青苗支所、奥尻島観光協会、江差信用金庫奥尻支店の各窓口に設置しています。

関連イベント　平成27年６月26日(金) 16：30 ～ 前夜祭（会場：奥尻町海洋研修センター）
平成27年６月27日(土) 21：00 ～ 後夜祭（会場：青苗人工地盤）

▲ 沿道からのたくさんの応援

▲ 漁火をバックに……

ゲストランナー参加決定！ 川内 優輝 さん

（年齢 28歳　埼玉県庁所属・学習院大卒）

陸上歴22年。小学校１年から陸上を始め、関東学連選抜での２度の箱根駅伝出場を含めて、これまでに380以上のレースに出場。監督・コーチをつけない市民ランナーとして、日本代表経験者としては異例の練習スタイルで、日本全国・世界各国のレースに数多く出場し、2017年ロンドン世界陸上でのメダル獲得を目指しています。

★川内選手から奥尻島の皆さんへメッセージ

「この度はムーンライトマラソンに招待して頂き、ありがとうございます。母校の砂原小学校が北海道奥尻町小学生訪問交流をしていたので、小学生の頃から奥尻島を知っていて、いつか訪れたいと思っていました。当日はハーフマラソンを走ります。後夜祭にも参加させて頂いて、ムーンライトマラソンを思いっきり楽しみたいと思います。よろしくお願いします。」

■出店（でみせ）募集について

実行委員会では６月27日(土)青苗漁港人工地盤で行われる後夜祭での出店を募集しています。
詳しい内容等については、実行委員会までお問い合わせ下さい。

■町民のみなさまへ

大会当日は車両等の交通規制がありますので町民皆さまのご協力をお願いいたします。
（交通規制の詳細については広報誌や回覧等で後日お知らせします）

◆お問い合わせ先　奥尻ムーンライトマラソン実行委員会事務局　☎01397－2－2400

全町一斉クリーンアップ作戦

平成27年4月18日(土) 8:00～

草木も芽吹き、春の足音が少しずつ近づいてきました。

冬の間、雪で目立たなかった道路脇の空き缶や海岸等に漂着したゴミが目につくようになりました。

町では、間もなく始まる観光シーズンを前に今年も『奥尻町クリーンアップ作戦・海浜清掃』を実施します。

町民みんなで力を合せまちをキレイにしましょう。

（詳しい内容については後日回覧でお知らせします）

「奥尻島しまびらき 2015」開催!

北海道で最も早く春が訪れる奥尻島では、今年も５月１日(金)に９回目の開催となる『奥尻島しまびらき 2015』を開催します。

奥尻らしい“おもてなし”で島民みんなでまちを盛り上げましょう。

◆日　時　平成27年５月１日(金) 14：30～
◆場　所　海洋研修センター
◆内　容　島の食材でのおもてなし、
　　お楽しみ抽選会、ゲストイベントなど…

災害時に備え、「避難行動要支援者名簿」を作成します

町では、高齢者や障がい者など災害時に自力で避難することが難しく手助けを必要とする方（避難行動要支援者）に対し、町内会や消防団など地域住民が中心となって救助や避難支援活動を行う際、迅速な活動が行えるよう『避難行動要支援者』の名簿を作成し、災害時に備えることになりました。

名簿の作り方

～高齢者等へ案内文書を送付～

災害時に避難支援を必要とするかを確認するため「災害時避難支援希望申出書及び同意書」を４月末までに郵送します。

郵送対象者は次の方です。

①65歳以上の高齢者
②介護保険の要介護認定者
③身体障害者手帳の交付を受けている方
④精神障害及び療育手帳等の交付を受けている方

避難に支援が必要な方は申出書を提出して下さい

災害時に避難支援を希望される方は、申出書及び同意書欄に氏名等の必要事項を記入のうえ、５月末日までに提出して下さい。

申出は随時受け付けます

避難支援希望申出書は随時受け付けています。今後支援が必要となった場合は、申出書を提出して下さい。

今回申出書が郵送されない方でも避難支援をご希望される方は、役場住民課又は総務課にご相談下さい。

【ご注意】

個人情報提供に同意することで災害時の避難支援を受ける可能性は高まりますが、避難行動支援を必ず保証するものではなく、また、避難支援者は法的な責任や義務を負うものではありません。

また、この名簿への登録は強制ではありません。

『避難行動要支援者名簿』の作成イメージ図

①要支援者の把握	②避難支援の意向確認	③名簿の作成	④名簿の更新
行政情報の集約	名簿登載に対する同意・確認	避難行動要支援者等支援機関への提供	名簿の更新
〈行政情報の集約〉 ・要介護認定 ・身体障害者手帳 ・療育手帳等	〈意向確認〉 避難支援の希望及び個人情報の提供に対する同意を確認します。	提出がない場合は、支援不用との意思表示をした扱いになります。	名簿の登録は随時行います。 年に１回を目途に名簿を更新します。

函館建設管理部からのお知らせ　～ 土砂災害警戒区域等の指定について ～

土砂災害防止法は、土砂災害から住民の生命を守るため、土砂災害のおそれのある区域について危険の周知、警戒避難態勢の整備、住宅等の新規立地の制限、既存住宅の移転促進等のソフト対策（土木工事によらない対策）を推進しようとするものです。昨年の地域住民説明会を経て、奥尻町においても次の区域が土砂災害警戒区域等に指定されたのでお知らせします。

●土砂災害警戒区域（イエローゾーン）及び土砂災害特別警戒区域（レッドゾーン）

指定区域名	所在地	自然現象の種類
奥尻９（奥尻５区の南側斜面）	奥尻郡奥尻町字奥尻	急傾斜地の崩壊
稲穂１（勘太浜地区）	奥尻郡奥尻町字稲穂	急傾斜地の崩壊

◆詳しくは下記URLを参照してください↓
http://www.njwa.jp/hokkaido-sabou/others/displayDesignatedMap.do?area=4

◆お問い合わせ先
函館建設管理部
管理課 管理第一係
☎：0138-47-9632
奥尻町役場
総務課 情報サービス係
☎：2-3402

防災教育などの先進的な活動が評価されました。

青苗小学校「教育実践校」として表彰

青苗小学校は、今までの防災教育、道徳教育、土曜授業などの実績が認められ、北海道教育委員会から北海道教育実践校（学校表彰）として表彰されました。

青苗小学校では、平成５年７月12日発生の北海道南西沖地震災害を教訓に防災教育に力を入れ、東日本大震災発生後には被災地児童へ励ましのメッセージを送るなど被災地支援に意欲的に取り組み、道徳教育推進指定校として道徳教育の充実や土曜授業の導入など、色々な活動を通じて、児童の学力向上に努めてきました。

この度の表彰は、地域の皆様方の学校教育に対するご理解とご協力の賜物であり、今後も子どもたちや学校に対するご支援についてお願いいたします。

▲『リレーゲーム』や『島かるた』などで体を動かしました……。

▲『大正琴』や『踊り』などを観賞し楽しい時間を過ごしました……。

来年も元気な笑顔で再会を……

第22回 いつまでも元気大会

３月７日(土)に「第22回いつまでも元気大会」が海洋研修センターで開催されました。

この大会は、高齢者相互の親睦を図り生涯学習への意欲を高めることを目的として各種団体ボランティアの協力を得て開催しています。

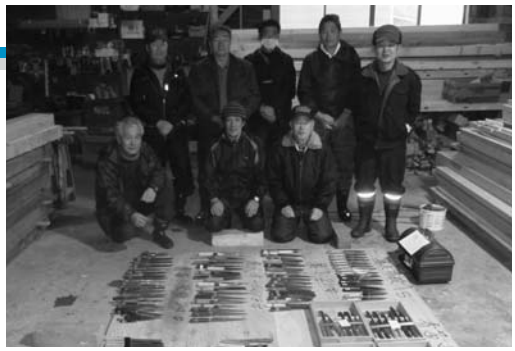
今年の大会には76名の方が参加し、スポーツ競技で交流を深め、芸能発表などを通じて楽しい時間を過ごされていました。

また、講演会では、暮らしの中での怪我の防止や対処法について消防職員から説明があり、多くの方が関心をもって静聴していました。

今年も、包丁研ぎボランティア活動を行いました･･･。

奥尻町技能者協会の地域貢献活動

▲ 包丁研ぎ作業の様子



▲ 包丁研ぎ作業を終えた技能者協会のみなさん

奥尻商工会工業部会と奥尻町技能者協会では、町内の各学校、特別養護老人ホームなどの包丁を集め、２月20日に「包丁研ぎボランティア活動」を実施しました。

この「刃物研ぎ」は、この時期に毎年行われ、今年は10名の会員の方が集まり、129丁の包丁を丁寧に研ぎ上げました。

研ぎ終わった包丁は元の切れ味を取戻し、各学校などの預け先からは、お礼と感謝の言葉が寄せられていました。

◆奥尻町技能者協会とは…？

町内の建築・建設業をはじめ、配管業や塗装業などの資格業者で組織し、お互いの交流と技術の向上を図ることを目的として設立し、色々な活動を実施しています。

奥尻町技能者協会は、町の活性化や地域貢献のため、ボランティア事業などに積極的に参加し、地域のためにも活動しています。

奥尻町でのゴミの分け方・出し方

奥尻町では、ごみ袋を指定し、ゴミの分別回収を実施しています。
春先は、転勤や就職、引っ越しなどでゴミが多く出る季節です。
ゴミはルールに沿って分別しない場合、ゴミ回収業者が回収できない（しない）場合があります。この場合、カラスや野良ネコにいたずらされるなど、ご近所の方へのご迷惑や周囲の環境にもよくありません。
『ゴミの分別・出し方の方法』をよくご理解のうえ、ルールに沿って分別し、決められた日に決められた方法で処分し、みんなでキレイな町を作りましょう。

◆奥尻町での指定ゴミ袋と処理券の種類及び価格（ゴミ処理手数料）等◆

区　分	種類／袋の色	指定袋		指定処理券	直接搬入
		25ℓ（又は5kg）	45ℓ（又は11kg）	45ℓ（又は11kg）	50kgまで（※）
燃えるゴミ	青色	60円/枚	130円/枚	130円/枚	310円（120円/20kg）
燃えないゴミ	赤色	60円/枚	130円/枚	130円/枚	260円（100円/20kg）
資源ゴミ	色指定なし	厚さ0.03㎜以上の透明または半透明の袋を使用して下さい。 レジ袋での搬出は収集できません。			

※直接搬入の場合、50kg以上は20kgを増す毎に（　）内の料金が加算されます。
直接搬入ゴミの搬入先は、燃えるゴミは『環境センター』、燃えないゴミは『廃棄物処理場』です。

町では、平成27年度「ごみ収集カレンダー」と「ごみの分け方・出し方」（上記Ｂ３版）のパンフレットを作成し、３月上旬に回覧折り込みにより全戸配布しています。
お持ちでない方は、役場及び青苗支所の窓口にも設置しておりますのでご利用ください。

お元気ですか社協です

奥尻町社会福祉協議会

社会福祉協議会の事業計画、収支予算

奥尻町社会福祉協議会の平成27年度の事業（業務）計画と事業予算が３月18日に開催された理事会と評議員会（総会）で承認されました。

今年度の重点目標と事業予算の概要についてお知らせします。

平成27年度事業重点目標

次の重点目標を定め、奥尻町の地域福祉活動の推進と介護保険法及び障害者総合支援法で定める「奥尻社協指定訪問介護事業所」として、適切なサービスの提供を行います。

◎「奥尻社協指定訪問介護事業所」のサービスの充実

◎新介護予防及び日常生活支援事業の推進

◎奥尻社協「地域福祉実践計画」の策定（継続）

みなさんのご支援とご協力をよろしくお願いします

相談窓口開設

～お気軽にご相談を～

社協では、「心配ごと」「困りごと」「苦情」などについての相談窓口を開設しています。

各関係機関と連絡をとりながら、適切な助言や紹介、情報の提供などを相談員が対応いたしますので、お気軽にご相談下さい。

とき 毎週水曜日 午後1時～4時

ところ 社会福祉協議会 相談室
☎2－3591 FAX2－3927

平成27年度事業予算の概要

（単位：千円）

収入 科目	予算額	支出 科目	予算額
会費	600	訪問介護等事業費	20,181
寄附金	100	地域福祉活動費	3,656
町運営補助金	7,619	高齢・障害者福祉活動費	242
福祉事業受託金（町・道）	2,420	ボランティア・児童活動費	378
共同募金配分金	846	高齢者等支援費	330
介護保険事業等収入	20,081	福祉資金貸付金	300
障害者自立支援事業収入	100	法人人件費等	5,359
貸付金収入	300	事務費	1,440
その他	20	負担金	200
計	32,086	計	32,086

保護者の方へ

～ スマートフォンを安心安全に使うために ～

子供のスマートフォン（以下　スマホ）利用には『利用時期の見極め』と『保護者の見守り』が大切です。

１．利用時期の見極め

スマホはアプリケーション（以下 アプリ ）で多様な使い方ができることから、インターネット全般を使いこなす力（ルールやマナーを守る社会性、責任感、自制心等）が必要です。

子どもの年齢や成長度合いで保護者の方が利用時期を見極めながら、子供向けスマホの利用やフィルタリング・機能制限等、学齢に合った適切な対応を行って下さい。

２．保護者の見守り

スマホのアプリ利用は、個人の利用者情報の送信を伴うことも多く、利用規約をよく読んで確認し納得して利用する必要があります。普段使っているアプリについての話をしたり、アプリのダウンロードや購入に一定のルールを設けたり判断が必要なメッセージが画面に出たら保護者に聞くように促す等、何でも気軽に相談できる親子関係づくりと日頃のコミュニケーションが大切です。

各学校等入学式の日程

平成27年度の町内各学校の入学式と各幼稚園入園式の日程を次のとおりお知らせします。

学校等の名称	入園・入学式日程	入園・入学予定者
奥尻幼稚園	７日(火)　午前10時	12名
青苗幼稚園	７日(火)　午前10時	3名
奥尻小学校	６日(月)　午前10時	8名
青苗小学校	６日(月)　午前10時	7名
奥尻中学校	６日(月)　午後１時30分	7名
青苗中学校	６日(月)　午後２時	11名
奥尻高等学校	８日(水)　午後１時	17名

お待たせしました

冬期間営業を休止していた施設について、春の訪れとともに、運営を再開しますので、通年開設施設とともにお知らせします。

ファミリーパーク（赤石地区）

施設概要　奥尻で最も大きな公園です。
利用日時　４月15日㈬～10月31日㈯
利用時間　９時00分～17時00分
料　　金　無　料

◆お問い合わせ先
役場水産農林課農林係　☎２－3411

佐藤義則展示室（赤石地区）

施設概要　赤石地区出身でプロ野球選手として活躍した『佐藤義則』さんの貴重な資料を集めた展示室です。
開館日時　４月15日㈬～10月31日㈯
（期間中、毎週火曜日が休館日）
開館時間　９時00分～17時00分
入 館 料　無　料

◆お問い合わせ先
役場地域政策課政策推進係　☎２－3404

リトーレ パークゴルフ場（神威脇地区）

施設概要　ノンノコース　９ホール　417m
レイラコース　９ホール　431m
利用期間　４月下旬～11月（天候状況による）
利用時間　９時00分～17時00分
料　　金　大人 500円、高校生 200円
小中学生 100円、貸クラブ 300円
シーズン券 10,000円

◆お問い合わせ先
役場地域政策課商工観光係　☎２－2351

稲穂ふれあい研修センター（稲穂地区）

「歴史民俗資料展示室」

施設概要　島の歴史や文化財を展示しています。
開館日時　５月２日㈯～10月31日㈯
（期間中、毎週木・土曜日開館）
開館時間　９時30分～16時30分
入 館 料　無　料

◆お問い合わせ先
奥尻町教育委員会　☎２－3890

奥尻島津波館（青苗地区）

施設概要　南西沖地震の記録を展示しています。
開館日時　４月15日～11月15日（期間中は無休）
開館時間　９時00分～17時15分
入 館 料　大　　人　500円（団体料金450円）
小中高生　170円（団体料金150円）
※団体割引人数は10名以上。

◆お問い合わせ先
奥尻島津波館　☎３－1811

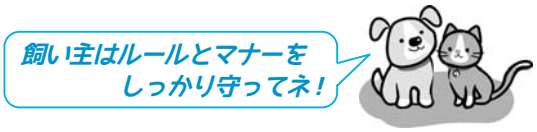
図書室（海洋研修センター内）

施設概要　蔵書１万７千冊で奥尻唯一の図書館です。
開館日時　毎週火曜日～日曜日
（年末年始及び毎週月曜日は休館）
開館時間　平日　９時00分～21時00分
休日　９時00分～17時00分

◆お問い合わせ先
奥尻町教育委員会　☎２－3890

飼い犬や猫からのお願い

役場には、犬・猫のフン処理などの苦情が寄せられているようです。



特に…

- フンの放置は、周囲に不快感を与え衛生的にも問題です。飼い主の責任で後始末をして下さい。
- 大型犬の公園などでの放し飼いは止めましょう。（子供たちや犬が苦手な人の事も考えましょう。）
- 野良猫への餌付けを止めましょう。（本人が良くても近所の方で不愉快に思っている方がいることをよく考えて下さい。）

※もし、飼い猫が子どもを産んで飼えなくなった場合は、捨てたり放したりせず、江差保健所や役場担当窓口に相談して下さい。

◆お問い合わせ先
江　差　保　健　所　☎0139－52－1053
役場地域政策課住民生活係　☎２－3404

山菜採りに出かける前に…。

日増しに暖かくなり、今年も山菜採りの季節となりました。楽しい山菜採りですが、油断すると沢に転落したり迷子になったり…　と、大事故に繋がる危険があります。

そこで、事故を防ぐためのポイントをお知らせしますので、安全に心がけ山菜採りを楽しみましょう。

◇家族などに必ず行き先と帰る時間を知らせる。
◇一人で山菜採りに行かない。
◇一緒に入った仲間と声を掛け合うなど、お互いの位置を知らせ合う。
◇万が一遭難した際、捜索の目印ともなるので、服装は目立つ恰好を選ぶ。
◇迷った時は、落ち着いて行動する。（携帯電話のGPS機能なども事前に確認する）

協会けんぽ北海道支部からのお知らせ

●平成27年度の保険料率改定について

衆議院の解散に伴い、平成27年度の政府予算編成が遅れたことから、平成27年度の健康保険料率ならびに介護保険料率の決定が遅れました。

このため、保険料率の変更が例年より１カ月遅れの４月分（６月１日納期分）からとなります。

現　行	健康保険料率	平成27年4月分～
10.12%	→	10.14%

現　行	介護保険料率	平成27年4月分～
1.72%	→	1.58%

●協会けんぽの健診

協会けんぽ北海道支部では年度内に１回、加入者の皆さまの健診費用の一部を補助しています。

35歳から74歳の被保険者（ご本人）さまへは、がん検診を含めた充実した健診項目の「生活習慣病予防健診」を、40歳から74歳の被扶養者（ご家族）さまへは、メタボリックシンドロームに着目した「特定健康診査」と二つの健診をご用意しております。

生活習慣病は早期発見・早期治療が大切です。

１年に１度は健診を受けましょう。

◆お問い合わせ先

全国健康保険協会　北海道支部

☎011－726－0352

ハートランドフェリーからのお知らせ

★車両限定 島民限定！割引キャンペーンの実施!!

ハートランドフェリーでは、町民がフェリー航路での車両輸送をご利用しやすいよう期間限定で、次の条件を満たした場合に車両航送運賃を割引します。

■車両航送割引運賃

奥尻～江差航路限定	車両の長さ	
	４ｍ未満	５ｍ未満
割引往復運賃（通常往復運賃）	**12,000円**（31,530円）	**15,000円**（40,650円）

■割引適用条件と期間

・島民割引対象車に限られます。
・往復券のみが対象となります。
・有効期限は発売日１週間です。
・**４月の土・日、祝日に奥尻出発の車両のみが対象です。**

※出発当日（日・祝日）のフェリーが欠航し、順延によって出発日が平日となった場合、割引運賃は適用となりません。ただし、復路便が欠航で順延（平日）となった場合は割引運賃適用となります。

・事前にご予約して下さい。
※予約がない場合、割引料金が適用にならない場合があります。

・カード決済はご利用できません。
・詳しい内容は下記お問い合わせ先にてご確認下さい。

◆お問い合わせ先

ハートランドフェリー　奥尻支店

☎２－３１３１

法テラス江差通信（第25号）～ 罪を犯した未成年者について ～

未成年者の犯罪について、ごく最近、マスコミを賑わす事件がありました（なお、未成年者の犯罪の件数は10年前と比べて半減したとのデータがあります）。

このような未成年者が、どのような手続きにより処遇されるのか、ごく簡単に解説します。

成年者と異なり、未成年者は心身ともに発達途上にあるとみなされていることなどから、成年者の場合の刑事手続とは異なる取り扱いをされています。とはいえ、罪を犯したと疑われた当初は、未成年者であれ成年者であれ、被疑者として扱われ、必要があれば、未成年者でも逮捕・勾留されます。

警察などの捜査機関による捜査が概ね終了した後で、成年者と未成年者での取り扱いが決定的に異なってきます。

成年者であれば、簡単な事件の終わり方もあるのですが、未成年者の場合は、捜査の結果として、犯罪の嫌疑があると捜査機関が判断した場合、例外なく家庭裁判所に事件が送られます。

そして、必要があれば、未成年者を少年鑑別所に送るなどの措置がとられることもあります。

家庭裁判所に事件が送られてから４週間以内に家庭裁判所で審判が行われ、未成年者に対する処遇が決まります。

不処分、保護観察（保護観察所の指導監督などを受ける）、少年院送致といった処遇がなされることが多いですが、悪質な事案や審判時に20歳以上になっている場合には、事件が検察官に送り返されます。

この場合、起訴されると、成年者と同様、被告人として扱われることになります。

未成年の犯罪と関係なくても、お問い合わせは、０５０－３３８３－５５６３まで。

（法テラス江差　弁護士　板垣　義一）

江差税務署からのお知らせ

◆確定申告書の内容が間違っていたとき

提出した確定申告書に計算誤りや申告漏れなど申告内容に誤りがあることに気付いた方や、うっかり確定申告書の提出を忘れている方はいませんか。

もう一度ご確認ください。

税額を多く申告していたことに気付いたときは、「更正の請求書」を提出して正しい税額に修正してください。

税額を少なく申告したことに気付いたときは、「修正申告書」を提出して正しい税額に修正してください。

また、確定申告書を提出しなければならないのに提出を忘れていたときは、速やかに確定申告書を提出してください。

詳しくは、江差税務署へお尋ねください。

◆お問い合わせ先
江差税務署
☎0139－52－0078

不動産登記に関するお知らせ

◆登記手続きを永年放置していませんか!?

次のような案件を永年そのままにしていると、権利関係が複雑になったり、登記手続きのために必要な書類の取得が困難となる場合があります。

この機会に「登記の専門家」である司法書士又は土地家屋調査士に相談してみてはいかがでしょうか？

相談は無料です。

お気軽にご相談下さい。

●所有者が亡くなったけど相続登記をしていない。

●生前贈与や売買で所有者が代わっているのに名義変更を忘れていた。

●住宅ローンの返済が終わったのに、抵当権の登記が残っている。

●建物の新築や増築の登記をしていない。

●取り壊した建物の登記がそのままとなっている。

●土地の区画を分けたい（分筆）と考えている。

◎名義変更や抵当権抹消等に関すること

◆お問い合わせ先
函館司法書士会
（函館司法書士総合相談センター）
☎0138－27－2345
午前10時～午後４時
※上記のほか、債務整理、認知症高齢者の財産管理等の相談も承っています。

◎建物の新築や取壊し、土地の分筆等に関すること

◆お問い合わせ先
函館土地家屋調査士会
（土地境界問題相談センター函館）
☎0138－26－2020
午前10時～午後４時
※上記のほか、隣地との境界問題測量、地目変更等の相談も承っています。

◎その他、登記制度全般に関すること

◆お問い合わせ先
函館地方法務局江差支局
☎0139－52－1048
午前8時30分～午後5時15分

建災防江差分会からのお知らせ

建設業労働災害防止協会北海道支部江差分会では、建築現場での有資格者の充実を図るため、次のとおり講習会を開催します。

◎車両系建設機械（整地等）運転技能講習

・日　時　5月18日～19日
・受講料　4万2千690円
・申込期限　4月30日

◎地山の掘削及び土止め支保工作業主任者技能講習

・日　時　5月25日～27日
・受講料　2万2千10円
※一部免除：9千50円
・申込期限　5月8日

◎不整地運搬車運転技能講習

・日　時　6月2日～3日
・受講料　3万3千940円
・申込期限　5月15日

◎講習会の開催場所（いずれも）

場所：檜山建設会館
（江差町字丸山299－15）

◆お問い合わせ先
建設業労働災害防止協会
北海道支部　江差分会
（檜山建設協会以内）
☎0139－52－1813

奥尻町国保病院からお知らせ

●４月の専門医の出張診療日●

矯正歯科診療

▶４月４日(金)　午後１時から　(予約が必要)

眼科診療

▶４月15日(水)　午後１時30分から
▶４月16日(木)　午前８時30分から(午前中のみ)

耳鼻咽喉科診療

▶４月16日(木)　午後１時30分から

出張診療日程については、専門医や交通機関等の都合により変更となる場合がありますのでご注意ください。

◆お問い合わせ先
奥尻町国保病院　☎２－３１５１

航空機ダイヤ

４月１日(水)～５月31日(日)

●HAC891　函館発　11：30 → 奥尻着　12：00
●HAC892　奥尻発　12：25 → 函館着　12：55

◆お問い合わせ先
㈱北海道エアシステム
奥尻空港所　☎3－2820
専用予約ダイヤル　☎0570－006－007

４月は 軽自動車税 の納める月です

◎忘れずに納期（４月30日）までに納めましょう
◎納税に便利な口座振替のご利用をご検討下さい。

道立江差病院の診療体制

外来診療体制４月の診療予定

● 整形外科	午前	月～金曜日
整形外来は、完全予約制となっています。受診される方は事前に予約が必要で電話でのご予約は午後１時からです。		
● 循環器内科	午前	月～金曜日
	午後	月・金曜日
● 消化器内科	午前	月～金曜日
	午後	火・水曜日
		(水曜日は８日と22日)
● 呼吸器内科	午前	金曜日
	午後	木曜日
● 外科	午前	月～金曜日
● 小児科	午前	月～金曜日
● 泌尿器科	午前	月～金曜日
	午後	水曜日
● 精神科	午前	月～金曜日
	午後	月曜日
● 産婦人科	午前	月～金曜日
● 耳鼻咽喉科	午前	1･9･14･15･23･28日
	午後	８・22日
● 眼科	午前	９・23日
	午後	１・15・22日
● 皮膚科	午前	火曜日
● 神経内科		４・18日

【受付時間】
午前　８：00～11：30 (初診の方は、9:00～)
午後　１：00～２：30

◆診療日は、予定であり変更になる場合もありますので、確認のうえ受診してください。

北海道立江差病院
〒043-0022　檜山郡江差町字伏木戸４８４
☎0139-52-0036　FAX 0139-52-0098

町の人口・世帯

住民基本台帳２月末現在

㊚	1,503 人	(1)
㊛	1,428 人	(－3)
㊐	2,931 人	(－2)
	1,588世帯	(－4)

( )は前月末比較増減

ご冥福をお祈りします

（平成27年２月11日から平成27年３月10日まで・敬称略）

おなまえ	年齢	住所
齊藤すゑ子	満88歳	字青苗
田中　政雄	満88歳	字奥尻

お誕生

おなまえ	保護者	住所
森政　雄飛（ゆうひ）	光生	字宮津
坂本　華（はな）	吉史	字青苗
小濱　結凪（ゆいな）	洋介	字赤石

よろこび かなしみ

行事予定

平成27年 4月 わが町のカレンダー

日 SUN	月 MON	火 TUE	水 WED	木 THU	金 FRI	土 SAT
3/29	3/30	3/31	1 友引 資(南) 赤(南)	2 先負 青(北)	3 仏滅 青(南) 選 北海道議会議員選挙告示日（投票日：4月12日） 病 矯正歯科診療（13:00～病院）	4 大安
※町内行事の日程は、都合により変更となる場合もありますので、詳しいことは各問い合わせ先でご確認ください。						
5 赤口	6 先勝 青(北) 教 各小学校入学式（10:00～各小学校） 教 各中学校入学式（13:30～奥中）（14:00～青中）	7 友引 資(北) 青(南) 教 各幼稚園入園式（10:00～各幼稚園） 	8 先負 資(南) 赤(北) 高 奥尻高等学校入学式（13:00～奥尻高校） 警 自動車運転免許更新時講習（場所：海セ）	9 仏滅 青(北)	10 大安 青(南) 	11 赤口
12 先勝 選 北海道知事選挙・北海道議会議員選挙投票日 	13 友引 青(北)	14 先負 資(北) 青(南)	15 仏滅 資(南) 赤(南) 病 眼科診療（13:30～病院） 住 予防接種（15:15～病院） 法 巡回登記所（9:00～海セ）	16 大安 青(北) （8:30～病院） 病 耳鼻咽喉科診療（13:30～病院）	17 赤口 青(南)	18 先勝 地 奥尻町クリーンアップ作戦・海浜清掃（8:00～全町）
19 先負 教 奥尻岬めぐりツアー（10:00～全町）	20 仏滅 青(北) 企 オイル交換キャンペーン（～31日まで）	21 大安 資(北) 青(南) 選 奥尻街議会議員選挙告示日（投票日：4月26日） 住 奥尻ひよこ・かもめ教室（10:00～いろは）	22 赤口 資(南) 住 青苗ひよこ・かもめ教室（10:00～富里福祉館） 環 ゴミ収集車車検	23 先勝	24 友引	25 先負
26 仏滅 選 奥尻町議会議員選挙投票日	27 大安 青(北)	28 赤口 資(北) 青(南) 住 奥尻ひよこ・かもめ教室（10:00～いろは） 	29 先勝 資(南) 赤(北) 昭和の日	30 友引 青(北)	5/1	5/2

お問い合わせ先略称　選 選挙管理委員会　病 国保病院　教 教育委員会　高 奥尻高校　住 住民課　警 奥尻駐在所　地 地域政策課　企 企業管理課　環 環境センター

会場・場所略称　(病院)国保病院　(各小学校)奥尻小学校・青苗小学校　(各幼稚園)奥尻幼稚園・青苗幼稚園　(奥中)奥尻中学校　(青中)青苗中学校　(奥高)奥尻高校　(海セ)海洋研修センター　(いろは)健康づくりセンター　(富里福祉館)富里へき地保健福祉館

ごみ収集の略称　青 燃やせるごみ　赤 燃やせないごみ　資 資源ごみ　(北) 北部…野名前～赤石地区　(南) 南部…松江～神威脇地区

◆ 発行・奥　尻　町　〒043-1498 北海道奥尻郡奥尻町字奥尻806番地　☎01397-2-3111(代)　FAX01397-2-3445(代)
◆ 編集・総務課情報サービス係　☎01397-2-3402(直通)
◆ 奥尻町ホームページアドレス　http://www.town.okushiri.lg.jp　　Eメールアドレス　info@town.okushiri.lg.jp
【このまま見やすいところへ貼ってご活用ください】